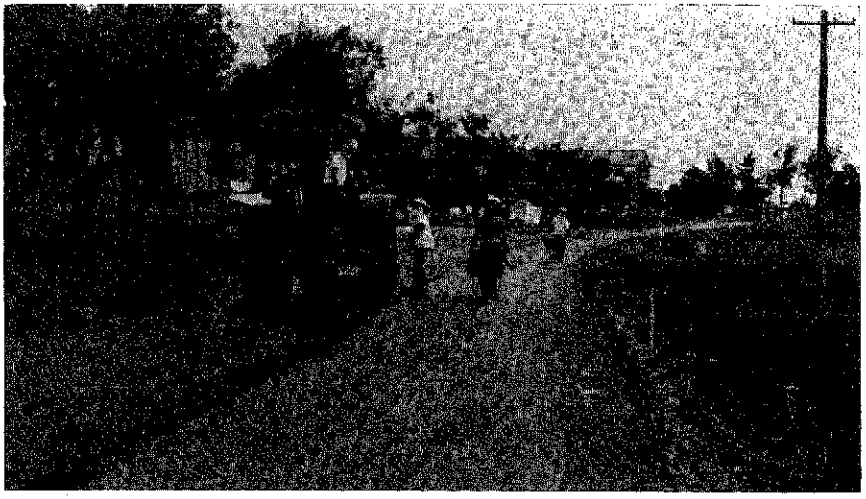
広報まき

1967年8月10日
第34号
発行　新潟県巻町役場
電話 代表(2)3131
編集　企画調査課

住民登録人口
（昭和42年7月31日現在）
総人口　27,720人
男　13,304人　女　14,416人
世帯数　5,927

整備進む国・県道

本年度中に七割は改良舗装

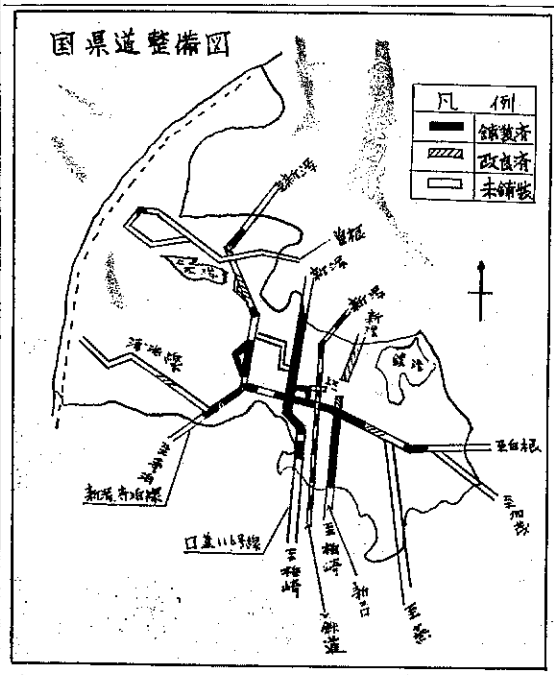


急ピッチで進む道路工事

町では道路整備計画に基づいて国県道を中心に町道の整備に全力を注いでいます。

すでに本年度に入って国県が当町に投資した額は巨額に達しております。新国道一一六号線の大排水から以北の建設改良工事、竹野町バイパス線舗装などと国県道の整備は急ピッチで進められており町費もそれにともなって負担しているのです。

道路の新設、改良を進めていく上には、町民みなさんのご理解とご協力によらなければできない事があります。



今回は現在までに行なわれた道路整備の進捗状況について、その概要をお知らせしますのでなお一層のご協力をおねがいします。

街の中央を走っている国道一一六号線（柏崎―新潟線）は、未舗装になっていた赤さび―安尻間、下和納―岩室村の和納間合せて約七百メートルが今月中に舗装されますので、巻町地内は全線舗装道路になります。

また、新国道一一六号線も用地関係者のご協力により明るい見通しとなっております。

新潟―寺泊線は交通の難所であった竹野町、布目地内はバイパス線が新設されました。

竹野町バイパス線は昨年改良工事が行なわれましたが、本年度に入って舗装工事が行なわれ、立派な舗装道路になりました。

布目バイパス線は部落の東側に法線が決まり新年度早々工事が進められていましたがこのほど完成開通しました。

もっとも交通の難所となっていた布目地内はバイパスの完成によって、交通が緩和されました。

また、竹野町―間手橋間も屈曲箇所を拡巾するための改良工事が行なわれました。

このほか布目地内の旧道、鷲ノ木、松野尾地内の舗装、布目から向って松野尾部落の入口に約四百メートルを拡巾するために改良工事が行なわれることになっております。

巻―白根線は巻警察署前まで舗装になっておりますが継続で河井部落まで約千二十メートル舗装工事が近く着手されます。

馬畑地内では白山町六十メートルの舗装、漆山本村の六の丁から潟東村の国見部落まで舗装されることになっています。

巻―浦浜線は峰岡地内と福井部落の入口は改良工事が終りました五ケ峠の最も屈曲の悪い二カ所を護岸と合せて拡巾工事が行なわれています。

橋梁では舟戸橋が幅員七・五メートル、延長二十三メートルの永久橋に架替えられます。

曽根―越前浜は松山地内の舗装或る時妙光寺の本堂を借り幻燈会を催し、一般に公開五人交替で写真説明をし大変喜ばれたこともあった本倶楽部結成の動機については、当時わが町出身で中央政界に活躍された（政友会総務予算委員長歴任）田辺熊一代議士への薫陶によるところも、またその一因だったと思われます。（田辺代議士につき私の知って居る範囲に少し書きたいと思いますが紙面に制限あり省略）

その後笹木、佐藤、有田三君共相ついで早逝せられたが、天幸にして健康を与えられたならば、ともにみな優秀な人材必らずや、わが郷土の政治経済両面に亘り、指導的人物として活躍

私は、十八歳の秋北海道（行く前、約一年半ばかり本家母方の祖父染佐こと久保田佐平治（八十八歳の米寿まで長命した）の染物業の手伝いをした。

その間、先輩小林小郡治氏の主唱にて小松屋呉服店の笛木辰治氏、小間物店正安さの有田正治氏、吉野屋の佐藤寶一郎氏これに私も、その驥尾（きび）に付し、会名蛍雪倶楽部を結成し、夜間週二、三回本部の上町土手の長島材木店の二階に集合、勉学討論会など、また

蛍雪倶楽部を結成勉学に励げむ

久保田眞吉氏

町発展に多大の貢献せられたことを確信し、衷心より哀悼の意を表しつつしんでそのご冥福を御祈り申し上げる次第であります。その後、私は北海道から新発田入営除隊後東京市日本橋区小舟町海産物問屋穀山半三郎商店に勤務中「友あり遠方より来たり、また楽しからずや」と昔からの名文句通り畏友小林小郡治氏上京わざわざご来訪くだされ一夕日本橋芳町の某料亭へ御招きし昔の思い出話しやら、故人になられたご三君の追憶談に時を過し、その内に小林さんも良い気持になられ、しぶい喉で粋な都々逸や二上り新内を披露せられ老妓共の拍手絶讃大変ご満足であった様でした。いまだに、そのときの笑顔が眼前に彷仏としております。これが最後と申しますか、ついに再会の機を得られぬとは神ならぬ身の知る由もないが、かえすがえすも惜しい人物でありました。

かえりみるに、取り残された一人の私は、この十月には満八十歳の馬齢を迎えることとなりましたが、最近、身近の知己友人がつぎつぎと他界せられるのを見ますと、なんとなく一抹の淋しさを感じます。これじたいが健康特に精神面に悪いとのことで、つとめて気にかけない様にしておりますが、これもまた年の精でしょうか。

続く

選挙人名簿の登録

届け出期限は九月一日まで

新有権者は忘れず届け出を

住所の移転や新有権者などの未登録者は、申し出なければ選挙人名簿に登録されません。

昭和二十二年三月二日から昭和二十二年九月二日までに生まれた人で、巻町に住所を有する人は、九月一日の定時登録に新しい有権者として永久選挙人名簿に登録されますから、九月一日までに印かん持参の上届け出をしてください。

他の市町村からの転入者

昭和四十二年七月一日までの間に他の市町村から巻町にこられて住民登録の手続きをした人は、永久選挙人名簿に登録されますが、届け出をしない人は登録されません。

手続きをしてない方は至急住民登録をした上で選挙管理委員会に申し出てください。

お願い

◎四月の統一選挙の際に巻町に住所を有し、当然選挙権があるにもかかわらず選挙ができなかった人は申し出をしてください。

◎四月の統一選挙の際名前、生年月日等の間違っていた人は、原簿を訂正して今後間違いのないようにしたいと思いますので、ご連絡くださるようお願いします。

◎選挙権は子どもの生まれたとき届け出するように、必らず届け出の手続きをしてください。選挙になってからでは間にあいません。

なお、選挙人名簿について不明の点は遠慮なくお問いあわせください。（巻町選挙管理委員会）

漆山保育園にプールを寄贈

保川栄七さん（漆山1の丁）

漆山一ノ丁の保川栄七さんが町立漆山保育園にプールを寄贈、関係者から感謝されています。

このプールはたて三メートル七十センチ、よこ二メートル七十センチのりっぱなもので、さる七月二十二日寄贈者保川栄七さん、母の会々長、保母、園児が参列して、プールをお払いしてもらいました。

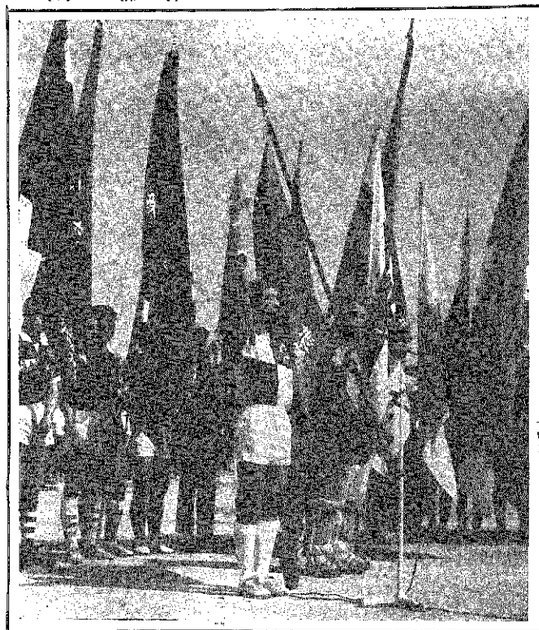
お払いが済むと園児たちは水着をつけて、保母の指示によってプールに入り、水をかけっこしたり足でばちゃばちゃはねたり、大喜びでした。

保川栄七さんは「子どもたちの遊んでいる姿をみるとほんとうにうれしい。小さい時から、水になれてもらって、少しでも水の事故から守られれば幸いです。」とプールに遊ぶ園児を見て、目を細めていました。

プールで遊ぶ大喜びの園児たち（円内は安川栄七さん）

成功を収めた大会運営

全国高校ホッケー選手権大会



「ようこそいらしゃいました」と歓迎のあいさつを述べる江端町長。

史上最大の参加チーム

ホッケーの町で全国津々浦々の精鋭五十八チームの選手が来町して、熱り広げられた全国高校ホッケー選手権大会は、大きな成果をあげて終った。

ここで役員、選手から好評を博した大会の足跡をふりかえって特集してみよう。

一年前から参加を五十チームに想定して、綿密な準備を進めていた大会事務局は参加申し込みを受って見ると、史上最大の参加数にうれしい誤算だった。四つの会場では日程どおり消化しきれないため急遽西川竹園高校を第九会場にお願いし、民泊も新たに八チームが各家庭の好意で決まった。

二十四日夜大谷高校（京都）が選手団の第一陣として、乗り込み翌日から巻工高グランドで練習を開始した。

一方箱志家、商工会、官公庁の協力で町は歓迎気分がもりあがった。

民泊家族も暖い出迎え

二十八日選手の家町もピークに達し、列車が到着するたびに呉越同舟してきた選手が巻駅に続々降り立つ。どの顔、休も日焼けで真黒。この大会に傾ての豊富な練習されたが家内所も訪れた選手の接待でなかなかの混雑。民泊を引き受けた家族、一般町民の暖い歓迎を受け、宿舎にむかう道中、始めて見る街並みにキョロキョロ。

翌日は午後三時巻小学校体育館で大会組合わせの抽せん会。まず昨年の大会成績により優勝校岐阜西工高、札幌商高、岐阜女商高など上位チームがシードされる。そして北の北海道勢から順序繁表した面持ちの各校主将の手で抽せんが行なわれた。対戦チームはどこか心配して駆けつけた監督、選手二百人で、館内はビーンとはりつめた緊張気が続く。大会ムードは最高潮に達する。

その夜、各宿舎では監督を輪の中心に、明日の決戦を前に対戦チームの戦力検討、作戦を練り早めに床についた。

正々堂々と入場行進

快晴。すべての準備完了、待ちに待った開会式。ブラスバンドのマーチに乗って午前八時入場式が開始される。北から南へ、最後は地元勢が各々母校の栄誉と伝統をにない正々堂々と胸をはっての入場行進、高校野球のみなぎる意気はつめかけた町民に深い感銘を与え、高らかな拍手を呼ぶ。

厳粛でしかも壮麗な開会式も巻工高主将高橋良明君の宣誓で頂点に達する。「国旗、日本ホッケー協会旗、高体連旗、大会旗、町旗の五本が美しく掲れあがった角田山を背景にひらひらとひるがえる。

前日来の雨で整備の遅れた農高会場を除いて午前九時三十分四会場一斉にプリー、オフ（試合開始）。主会場では北海高校対瀬戸高校が熱戦の火ぶたを切る。

シード校続々敗退

第一日目で半数のチームが健斗空しく姿を消した。優勝候補がきびしい世界であるが、町民感情として遠くから来てくれたチームどこにも負けさせたくなかった。しかしこの中で、地元の期待をになって血のにじむような猛練習をにはげんだ巻勢が勝ち進んだことは明るいニュースだった。だがいわゆるシードチームの名古屋商高、横浜商高、札幌商高、小野学園高が新進高の活躍で、一回戦でバタバタ敗退、波乱含みのスタートだった。

大会も二日目、三日目と日を追うにしたがって若さと力の激突はいよいよ白熱化した。

賞賛!!不屈の精神力

本命の岐阜西工高と互角にわたりあって最後まで苦しめた巻高の善戦、柏崎商高の不運の抽せん敗け、巻高女子の惜敗。とにかく本県勢は精一杯敗った。

女子準々決勝の佳世保東商高対都農高の試合は見市だった。一対一のまま延長戦に入り、遂に勝敗決せず抽せんとなったが、炎天下で全精力を傾注した両チームは試合終了と同時に疲労と暑さのため一人づつ倒れた。だがこの両選手の不屈の斗志と責任感は、つめかけた観衆の心を強く打った。

大きな期待をかけられ順調に準々決勝に駒を進めた巻工高は優勝校丹生高パックス必死の防戦で遂に勝利の女神はほほえまなかったのである。

男女とも優勝分つ

ホッケー競技は数々の好勝負の連続で最終日を迎えた。男子決勝戦はNHKテレビで全国放送された。「新潟県はこの湯原平野の真中巻町で、インターハイホッケー競技男子決勝がこれより開始されようとしています……」

男女とも決勝戦は手に汗をにぎらせる好試合で、結局引分け同点優勝。男子は丹生高と岐阜西工高女子は石勤高と岐阜女商高が優勝を分け合った。

閉会式に整列した選手のユニホームは汗と泥で汚これ激しかった戦いの跡を物語っていた。

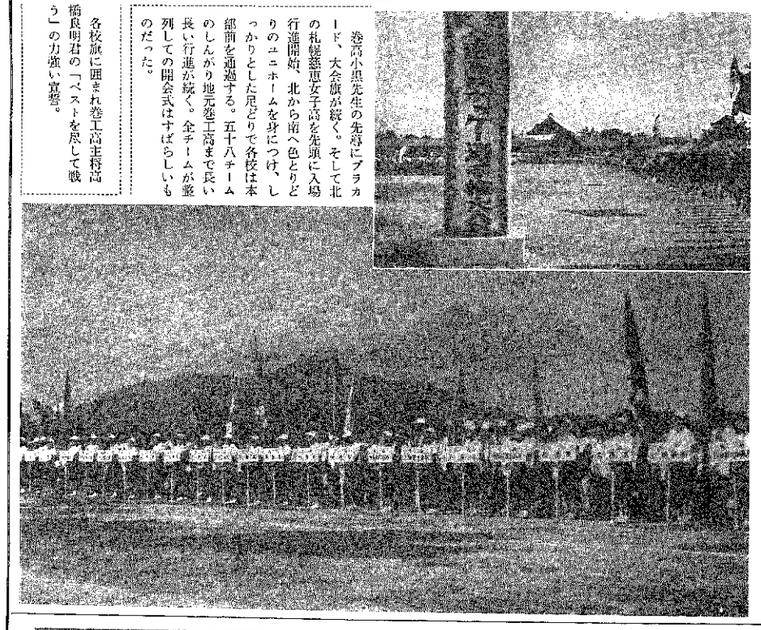
町民の協力を感謝

五日間にわたった大会の幕は、静かに降ろされ来年開催地広島の再会を誓い選手は去って行った。特筆されることは、夏休みを返上各高校役員の補助員として骨身を惜まずまじめに働いてくれた高校生の活躍だった。

旅館あるいは民泊を心快く引き受けてくれた家庭では選手を我が子のように世話され、帰郷する選手たちからはロ々に感謝の言葉を述べられていた。

町をあげての大会は大成功裡に終了した。これは町民みなさんの絶大なる協力によるものだった。

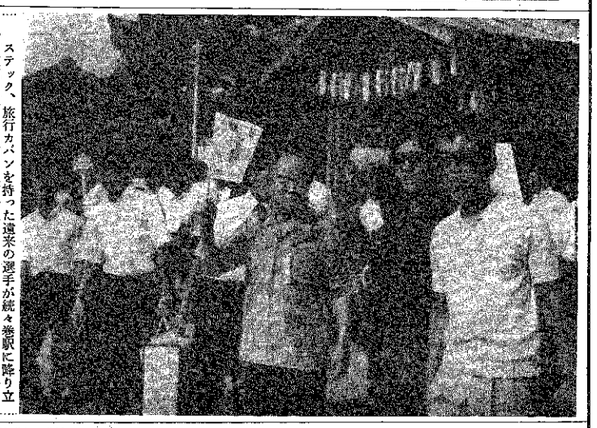
国体、インターハイのホッケー会場となった当町は、これを契機にさらにホッケーを町の代表スポーツとして育成することになっている。



巻高小出先生の先導にブラカード、大会旗が続く。そして北の札幌慈恵女子高を先頭に入場行進開始。北から南へ色とりどりのユニホームを身につけ、しっかりとした足どりで各校は本部前を通過する。五十八チームのしんがり地元巻工高まで長い行進が続く。全チームが整列しての開会式はすばらしいものだった。

各校旗に囲まれ巻工高主将高橋良明君の「ベストを尽して戦う」の力強い宣誓。

一回戦巻工高対東京学芸大学付属高の試合。巻工高猛攻で得点成る。必死の防戦空しくガックリ崩れる付属高守備陣。応援につめかけた町民は手を叩いて大喜び。6対0で巻勝。二回戦に進む。

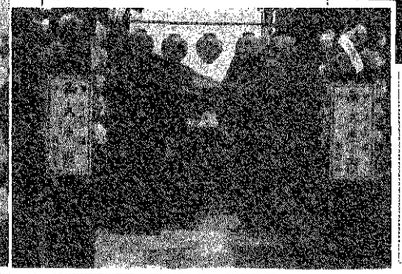


ステック、旅行カバンを持った遠来の選手が続々巻駅に降り立つ。旅館の主人、民泊家族、一般町民は駅頭まで暖い出迎え。駅前では、なごやかな歓迎風景が展開された。長い汽車の旅にも疲れを見せず元気に宿舎へ向った。

熱戦の展開で負傷者が続出。待機の救護係もてんてこ舞。しかしいづれも軽傷で関係者をホッとさせた。暑さと疲労と斗い試合終了と同時に倒れ、その斗志と責任感を賞賛された都農高選手。川口医師より注射を受ける。

二十九日自衛隊により歓迎の音楽パレードがはなばなしく行なわれた。

民泊家庭の優しい心づかい、きれいな歓迎門は選手をなぐさめた。



食事は選手たちの最高に楽しい時間。猛練習で腹がすくだけに、旺盛な食欲でたちまち並べられたごちそうをたいらげる。彼女たちもこのひとときは静かである。

なお、このごちそうは仕出し屋組合で協定されたもので、質量とも選手のために工夫された特別献立だった。

町長は遠来の選手をねぎらうため、参加全チームに名物笹ダンゴを贈った。珍しい贈り物に選手間でひっぱりダコ。巻の味を充分かみしめていた。

選手の中には、「この笹ダンゴを帰郷の際おみやげにしたい」が、どの店で売っているか」と町長代理で持参した役場職員に聞いていた。

優勝した右勤高に江端町長が巻町長杯を贈った。

郡社会福祉大会
長寿の長谷川さん等（二区）受賞

第十八回郡社会福祉大会が七月三十日味方村で行なわれ、町から民生委員、社協理事など三十五人が参加しました。

この大会は、新しい視野に立って研究討議を行ない、特に各方面の福祉関係者並びに地域の奉仕者が相互の活動に対する理解と認識を深めながら郡民福祉の向上を促進することをねらいとしています。

なお大会席上次の方々が表彰を受けられました。

◎高齢者（満九十歳）
長谷川カヨ（二区）、大越ミセ（三区）、田村ユミ（四区）、石山チセ（十区）、田島サヨ（中郷屋）、長谷川チヨ（河井）、岡村リイ（仁箇）、篠沢タツ（越前浜）

◎児童福祉施設永年勤続（十年）
渡辺チヨ（巻保育園）

◎児童福祉施設の浄化に功労
加藤寅作（八区）

第三十四回～三十六回
戦没者叙勲

第三十四回から第三十六回までの戦没者叙勲が発令になりました。今回の当町分は陸軍六人、勲八等旭日章二人、勲六等瑞宝章一人。

なお、今回叙勲を受けられた方は次のとおりです。

◎陸軍
（勲六等旭日章）
島山和一（峰岡、清喜）、山添正二（角海浜、幸雄）
（勲八等旭日章）
竹内忠平（十二区、忠太郎）、塚田太郎（八区、敏雄）陶山与七（赤さび、熊市）
（勲六等瑞宝章）
星野豊一（馬場、四郎一）

開眼募金目標額突破
ご協力に感謝

総合的な開眼対策事業計画に基づき、視覚障害者対策を一層充実したものとするため、全県的に開眼対策事業を県民運動として盛り上げ、目の不自由な人たちに愛の光をさしあげたいと開眼募金運動を展開してまいりました。

町も各区、部落長を通じて開眼募金をおねがいしてまいりました幸いに町民皆様のご協力により八月十日現在、目標額十六万九千三百八十円を上廻る十七万六千二百三円の募金が集まりましたので報告いたします。誠にありがとうございました。

なお、納入されていない部落がありましたら、至急厚生課までお持ちくださるようお願いいたします。

駅東側八月一日から
東六区に

従来八区だった駅東側の二十五世帯が八月一日から住民の意志により、東六区に編入されましたので、お知らせいたします。

なお投票所は従前どおり巻小学校になります。

今後手紙を出される時には、あて名は東六区と記入されるようお願いいたします。

東京の田畑さん
町社会福祉に三万円

東京都中央区八丁堀にお住まいの田畑久馬さん（十一区田畑正裕さんの遠縁にあたられます。）が母リセさんの香典返しとして、故人が生前世話になった郷土の福祉施設費の一部にと、現金三万円を巻町社会福祉協議会に送ってくださいました。

活動費に不足している町社協は大喜び。早速田畑さんの意志に沿って効率的な使途を検討することになっています。

部落めぐり ⑫ 舟戸
一時は金魚で知られる

巻から五ケ浜への途中渡る舟戸橋、この西手に道をはさんで十五世帯八十人の軒前三町の拾福な部落が舟戸部落です。

部落長は川村茂一郎さんで何ごともまとまりのよい部落です。

部落名の由来は蒲原一帯が入江のころ、こちらが舟戸で向岸が岩室村船越だったところから出たそうです。

それからぬか十五世帯のうち九世帯は川村、笹川と水に因んだ姓です。

この部落に昔からの家は現当主笹川秀一さん宅で三十三代で約四百年前から舟戸に住んだといわれています。

このお宅は戦前まで「五香」の製薬で有名なお宅です。或る日馬を洗うため矢川に入れて引きあげたところ馬の足に「カッパ」がまつわりついて陸に上ってしまいました。「カッパ」は命請いのお礼に「呑み水に困らないように井戸を、たづきがたつように栗を」と「五香」の製法を伝受したといいます。家伝薬はたいていこの伝えがあります。峰岡赤沢家の「神峰散」など浪人者の行き倒れといわれていますが、舟戸、矢川、馬洗い、カッパ、井戸、そして家伝薬と並べると興味深いものがあります。

当時は県内はもち論、県外からも聞き伝えて註文が来たといいます。今は笹川さん宅の二階の雨戸にヤマサ笹川製薬所と大書されて往時をしのばせます。

家貧しうして孝子現わる、国乱れて忠臣現わるといいますが、西部の西端矢川に沿う一小村には西部数十女村と共に古来水害に悩まされ、雪解けとつゆどきの際作物ことごとく水底へ没する其の惨情云うべからず、生民其堵に安ぜず流離、散逸する者多し」と舟戸村だけでなく西川流域の住民が水のために難民の苦しみを味ったといわれています。

舟戸村は弘化元年十月二十六日遂に待望の坂田廉平を生んだので米作りで農林大臣賞をうけた川村平作氏がいます。

坂田廉平君眉目秀麗容姿かん雅宛然たる貴公子なりとありますから余程の美男子だったのでしょう

舟戸村すぎたるもの二つあり橋の欄間と坂田廉平といわれ、部落小なりといえどもとの自負がうかがわれます。

橋の欄間は擬宝珠のついたものでちょうど神社の太鼓橋の手摺のような飾りのついたものだったといいます。また坂田廉平氏については馬堀の田辺氏、竹野町の大沢氏、などと共に部落として誇り得る人物です。

舟戸部落では昭和初期小林家の金魚が有名でした。一時は池の面積だけで一町五反あったといわれます。五香であれ金魚であれ金県的な商売をやった部落です。また米作りで農林大臣賞をうけた川村平作氏がいます。

東南アジアの青年と交歓
「日本の船」に乗ろう

総理府では、つぎの要領で昭和四十二年度「青年の船」の一般団員を募集しています。

青年の船は「さくら丸」一万二千六百トン、団員二百八十人で昭和四十三年一月中旬から三月中旬まで東南アジアへ約五十日間にわたって航海を行ないます。

参加者は乗船費用として一人五万円以内の負担と、その他に旅券発行手数料などが個人負担となります。

※「青年の船」団員応募資格はつぎのとおりです。

◎国籍、日本人
◎年令、満十八歳以上二十六歳未満（昭和四十二年四月一日現在）
◎健康で長期の船上生活、団体生活に適応できること。伝染病疾患のないこと。
◎規律遵守
(ア)事前研修から解団式まで、いっさい主催者の計画にしたがって規律ある行動のできること。
(イ)協調性にとみ団体生活に適応できること。
◎語学能力、中卒程度以上の基礎学力をもち、ある程度の日常会話ができること。
◎海外渡航の経験のないこと。
◎社会への貢献、将来、職場、地域、青少年団体など中堅的な活動が期待できること。

募集期間は八月二十五日迄ですので、希望者は役場経済課または教育委員会社会教育課に必要書類を添えて申し込んでください。なお提出書類の様式は両課のいづれかに問い合わせてください。

年一回はがん検診を
不治の病も早期発見で

九月一日からがん征圧月間が実施されます。

〝不治の病〟といわれているがんも、最近では医学の進歩により早期に発見し、早期に治療すれば健康を取りもどすことができるようになりました。

町でのがんによる死亡は次の表で見られるように毎年四、五十人の人が亡くなっています。特に四十歳を過ぎたら、なんの症状もなく健康に自信があるときでも、年に一回か二回は定期的な健康診断を受けることがなによりも大切です。

巻町ガン死亡部位別表

	昭和40年度 男	女	合計	昭和41年度 男	女	合計
癌	11	8	19	14	9	23
〃胃	0	1	1	0	2	2
〃宮	1	3	4	1	5	6
〃子	3	0	3	2	0	2
〃肝	2	0	2	0	1	1
〃肺	0	0	0	0	0	0
〃食道	0	1	1	1	1	2
〃乳	1	1	2	1	1	2
〃直腸	1	4	5	1	5	6
〃大腸	0	3	3	0	4	4
血病	0	0	0	1	1	2
白の他	1	0	1	0	1	1
小計	14	9	23	17	12	29
計	25	17	42	31	18	49

〔がんの早期発見十カ条〕

1、原因がわからず痛みもないのに、やせてきて、顔色がわるくなり、貧血してくることはないか。（すべてのがん）

2、ならがく胃腸の異合がわるくないか。食欲はおとろえないか。（胃がん）

3、おりものが増えたり、血がまじったりしないか。不定期出血や接触出血はないか。（子宮がん）

4、乳房のなかになにかが消えない。（乳がん）

5、ものを飲みこむとき、つかえるような気がしないか。（食道がん）

6、便通の調子がくるったり、血がまじったりしないか。（直腸がん）

7、せきがなかなか続いたり、たんに血がまじったりしないか。（肺がん）

8、声がかすれて、なかなか治らないことはないか。（喉頭がん）

9、口の中や皮膚に、治りにくい潰瘍はないか。（舌がん・皮膚がん）

10、尿の出がわるかったり、血がまじったりしないか。（腎臓がん、膀胱がん、前立線がん）

赤さび地区民生委員に
幸田久作氏

昭和三十四年以来、赤さび地区担当の民生委員金子ミツさんは健康上の理由から七月一日付に民生委員を辞退されました。

七年以上に亘りご活動、ご苦労さまでした。

後任は幸田久作さんです。金子民生委員同よう、気軽に何ごとも相談出来る方です。

民生委員永年勤続で
前田、田辺両氏表彰受く

去る七月二十六日、長岡市で行なわれた民生委員制度発足五十年記念大会に二十年以上勤続者として馬堀の前田良雄、田辺円常の両氏が県社協の表彰をうけました。

民生委員制度は、始め大阪で生まれた民間人による篤志奉仕者です。

関東大震災の折りに東京市が民生の安定をはかるため採用しました。

以来全国に拡がり「方面委員」と呼ばれて来たものです。

戦後の混乱期に大活躍したことは皆さんのご記憶のとおりです。

巻史学会二十六日集会

角田山麓民俗調査にのり出した巻史学会では、八月の集談会を二十六日夜八時から越前浜部落で実施します。

村制、年中行事、昔ばなし、民具、食生活、農耕、古い住居らでその成果が期待されます。

家事相談のご利用を
新潟家庭裁判所

新潟家庭裁判所は、家庭問題に関する審判や調停、非行少年保護の各事件を取り扱っていますが、さらに家事審判、調停の制度を利用しやすいものとするため、家事相談の窓口を開いています。

相談にくる人たちに対して、家事審判、調停の申し立ての手続き必要な書類、費用はどのくらいかかるかなど、家庭裁判所における問題解決の方法を教えたり、相続、扶養、遺言などいろいろなご相談に応じていますので、お困りの方は気軽におでかけください。

住所は次のとおり。

新潟市川岸町一丁目五十四番地
新潟家庭裁判所

ハシカの予防接種申し込みは二十日まで

ハシカは子どもにとっておそろしい伝染病です。

しかし、近年は十分な予防効果のあるハシカワクチンが開発され予防接種をすることにより防ぐことができるようになりました。

このたび医師会から、予防接種実施について好意ある申し入れがありましたので希望者は、八月二十日までに役場衛生係に申し込んでください。

◎実施区分　一歳以上
◎接種法　二回法（一回から二回間隔期間四～六週間）
一回目　不活化ワクチン注射
二回目　生ワクチン注射
◎料金　千五百円
◎実施日時　申し込み者に個人通知しますが、一回目九月八日二回目十月十二日の予定です。

○おくやみ●
（七月一日以降届出）

名前	死んだ年令	住所
村井　コミ	7・3	86
山田　征市	7・5	54
山賀　和磨	7・6	興業
松井　マン	7・10	87
渡辺松太郎	7・13	78
笹口　リセ	7・13	78
阿部藤三郎	7・15	70
山賀吉郎	7・16	55
土田　倉市	7・16	66
荒川　克尚	7・16	6
小林　緒一	7・16	9
阿部　政吉	7・16	76
小山　タヤ	7・16	74
上原　治市	7・18	79
亀山いづみ	7・19	0
丹保　嘉郎	7・20	67
星野　芳男	7・20	42
羽田畑シゲ	7・28	50
広　ミイ	7・28	88
土田　与八	7・29	74

名前	死んだ年令	住所
岩崎義智子	7・5	碧雄町組
中野　昌美	7・6	正栄9区
佐藤　敏彦	7・6	利栄伏部2区
唐見　勝	7・7	勝彦2区
番場　春夫	7・8	春一河井9区
渡辺　秀明	7・11	栄一5区
平松　則子	7・11	功馬堀11区
五十嵐誠喜	7・12	功11区
生田　直人	7・13	哲雄11区
中原　薫	7・16	武史竹野町12区
豊田　博史	7・17	武史竹野町12区
小林　裕	7・19	太一郎12区
山賀　紳子	7・19	博興業
山田美根子	7・23	邦夫漆山
布川　保	7・24	直喜福井13区
南雲　善子	7・25	正友13区

赤ちゃんの名前
（七月一日以降届出）

生まれた日	お父さんの名	住所
若月　千春	6・19	喜五郎
高杉　輝幸	6・22	一
有坂　和寿	6・22	務
佐藤　健一	6・22	章
猪俣　丸子	6・22	健
八木沢美奈	6・22	広雄
斎藤　広伊	6・22	伊佐夫
上原奈穂子	6・25	正司
鈴木　正弘	6・27	栄一
富山　澄子	6・29	典幸
高杉　靖彦	7・2	直彦
斎藤　啓介	7・2	栄一
竹石　恵	7・3	武
鏡城有里子	7・4	徳市

四郷屋
赤さび
福井
1区
3区
下和納
竹野町
竹野町
仁河井
箇